

「建設委員会傍聴記」

(表面より)

土木部 286号線の北側、区庁舎のすぐ隣りだが、事業化計画はなかったが、周囲の拡幅、延伸に併せて着手した。

渡部委員長 では各会派の意見開陳後、採択する。

栗原佑卓委員(自民) この道路は地域住民の利便性、災害の際に重要だ。不採択。

堀江創一委員(公明) 利便性、安全性も含め重要だ。不採択。

須田哲二委員(共産) 採択。第4次計画から外れていても、都市計画からは外れていない。

本西光枝委員(生活者ネット) 採択。自動車数の減少、交通量調査も含め、カーシェアリングも前年より46%も増えている。願意は理解する。

渡部委員長 挙手少数。よって不採択。次に第4号。

本西委員 前回、ポンプ場の耐水化が重要と言ったが、ポンプ場のかさ上げは。

土木部 計画はない。小松川第2ポンプ場はかさ上げではない耐水化をしている。AP5・1(津波対策)で整備が進んでいる。高潮にも対応している。

本西委員 透水性舗装、土嚢ステーションなどで十分なのか。

土木部 TP2・61への対応だ。下水施設は時間50mmを越えるものは自主防衛をしたい。内水氾濫は課題だ。

本西委員 新しいマンションなどは段差がない。内水氾濫時、住民は理解しているか。自治体が率先すべきことはある。スーパー堤防よりも内水氾濫に重点を置くべきだ。

土木部 AP5・1になっても小松川第2、葛西水再生センターは排水可能だ。

須田委員 どの程度の豪雨、浸水の基準を設けているのか。遮水板など各家庭での対策をすべきか知恵、予算が必要だ。陳情にもあるス

ーパー堤防よりも内水氾濫対策、理解できる。上流からの水は江戸川のスーパー堤防だけでは防げない。陳情に賛成だ。

渡部委員長 他に意見がなければ本日は継続とする。

◇ ◇ 「陳情審査を傍聴して」

私たちの陳情3号、4号が建設委員会に付託されたのは、平成14年11月でした。以来、13回約6時間半の審査を経て3号は不採択となりました。1回約30分の審査で、委員からは驚くような意見が出ました。

曰く、「岩槻通りは道路の真ん中に電柱があつて危険だ。283号線拡幅は必要」

曰く、「これから高齢化社会に入る。医療、日常生活に車は不可欠」

私たちは寡聞にして、岩槻通りの真ん中に電柱があるとは知りませんでしたし、北小岩は過疎地ではなく日常生活にほとんど不便はありません。実態とかけ離れた意見が委員会をリードしてしまつのです。皆さんはどうお考えでしょうか。

次回2月は休会中審査で最後の委員会となります。その次は第1回定例会となり、委員の多くが交替するでしょう。

皆さんも是非、委員会を傍聴し、区議会の姿をご参考ください。

作品発表会「希望は？」

今年も5月14日(土)、15日(日)の両日、北小岩「ミニユニティ会館」で会館利用の各サークルの作品発表会が行われる予定です。私たちも目下、内容を検討中です。

その案として①＝鬼怒川よりはるかに頑丈な江戸川右岸の堤防、②＝北小岩・江戸川沿いの史跡、を検討しています。いずれも写真と簡単な説明文をセットにしています。

例えば「史跡」では、普段見なれている場所にも意外な歴史があったり、改めて驚かされることに気付かされるはずですよ。

皆さんからのご希望があれば、私たちにお寄せください。一緒に検討したいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

スーパー堤防・街づくりを考える会 運営委員会

陳情3号は挙手(賛成)少数、不採択に。と。第4回定例会終る

内水氾濫対策は区も課題、